

取扱説明書



ビードブレーカー

注文コード：88620683

このたびは、ビードブレーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。



警告

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。



注意

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

- 本製品は、自動車整備士、二輪自動車整備士、または整備に関する一般的な知識をお持ちの方を対象としています。
自動車や二輪車の構造および構成部品などをよく理解し、十分な経験をお持ちの方が、責任を持って使用してください。
- 本製品を使用する前に、以下の説明を熟読して理解し、厳守してください。特に、安全上の注意事項(警告文)はよく理解するようにしてください。
使用方法もよく理解した上で、安全・適切に使用してください。
- 誤った使用方法により本製品が破損したり、人体への傷害、物品などの損傷・損害が生じた場合は、一切の補償および責務は無効となります。



警告

- 本製品は、自動車整備士または整備に関する一般的な知識を有する方を対象としています。修理技術者でない方は、本書に記載されていない、本製品の分解、修理、改造は絶対に行わないでください。
- 本製品を使用目的以外で使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- 本製品を使った作業は危険が伴います。安全な作業場所を確保し、作業工程を熟知した上で作業をしてください。
- 作業場所は常に整理整頓し、作業上障害となるような物は置かないでください。
- 作業場所に、作業者以外近づけないでください。特にお子様は危険な行動をとることがあるので、近づけないよう十分注意してください。
- 本製品は、固く平らで傾斜のない床面で使用してください。不安定な床面では絶対に使用しないでください。守らないと、事故やケガの原因になります。
- ハンドル操作が正しくできるように、作業場所を確保してください。
- 本製品は以下の場所で使用しないでください。
 - 一屋外(雨天の屋外は特に危険です)
 - 一湿った場所、濡れた場所、水中
 - 一直射日光下
 - 一周辺温度が40℃以上になるような高温の場所
 - 一可燃性の液体やガスのある場所
- 作業中は必ず換気をし、作業場の換気をよくしてください。
- 作業に適した服を着用してください。だぶだぶの衣服、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。巻込まれたり引掛かったりして、ケガをするおそれがあります。
- 安全のため安全ゴーグル、安全帽、安全手袋、防塵マスク、耳栓などを着用してください。
- 長髪の方は、髪が巻込まれないよう十分注意してください。
- 作業開始前に、台部に亀裂や変形、ボルトナットの緩みなどの異常がないことを必ず確認してください。
- 本製品はていねいに扱ってください。落としたり倒したりぶつけたりして、強い衝撃を与えた場合は、内部に異常がないか必ず確認してください。
異常や損傷が見つかった場合は、ただちに使用を中止してください。絶対にご自分で分解修理を行なわないでください。事故やケガの原因になります。
- タイヤの取外しなどの整備作業については、必ず車両に付属の整備書を確認してください。
- 使用中に少しでも異常を感じたら、速やかに作業を中止してください。



注意

- 使用する工具の説明書をよく読み、注意事項を守って作業してください。

2 特長

- 50～150mm幅のタイヤに対応したビードブレーカーです。
- スクーターやビッグバイクなどに幅広く使用できます。
- タイヤサイズに合わせて、ブレードの角度を調整できます。

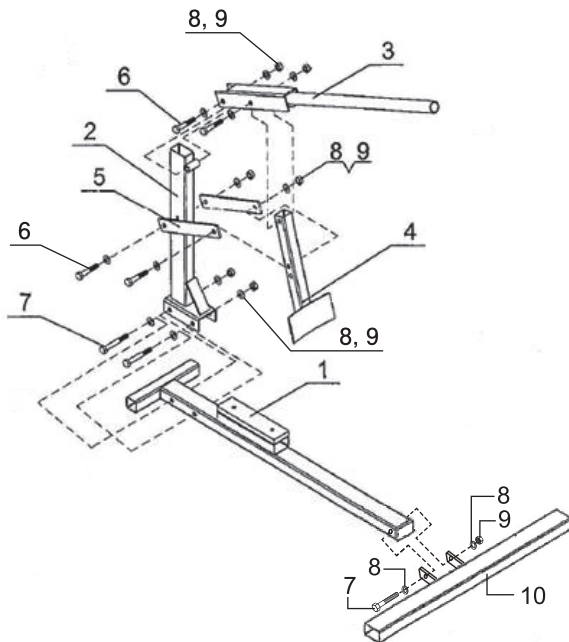
3 仕様

適合タイヤ幅	50～150mm
適合ホイールサイズ	15～21インチ
本体サイズ	685×500×360
質量	3.6kg

※ タイヤおよびホイールの状態や状況によっては、適合サイズであっても使用できない場合があります。

4 組立て

■ 組立て図



- ① ベースフレーム
- ② ポスト
- ③ ハンドル
- ④ ブレード
- ⑤ プレート×2
- ⑥ M8×45ボルト×4
- ⑦ M8×60ボルト×3
- ⑧ Φ8ワッシャ×14
- ⑨ M8ロックナット×7
- ⑩ ビーム

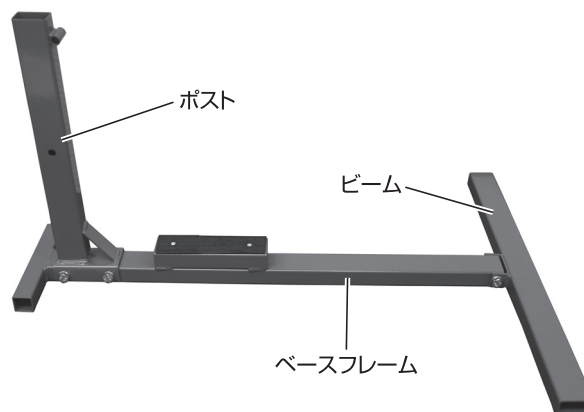
⚠ 注意

- 組立は、障害物のない広い場所で行ってください。
- 部品が不足していないか、損傷や破損などがないかあらかじめ確認してください。不足、損傷、破損などがある場合は、作業を中止してください。
- 作業中に異常を感じたら、速やかに作業を中止してください。

1 ベースフレーム(①)に、ポスト(②)とビーム(⑩)を差込んで取付けます。

▼ 使用するネジなど

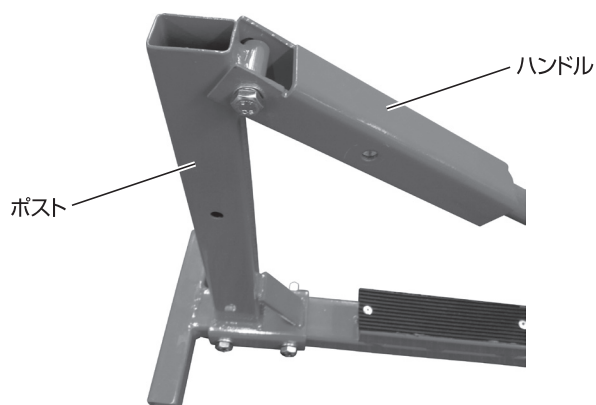
- M8×60ボルト(⑦)×3
- Φ8ワッシャ(⑧)×6
- M8ロックナット(⑨)×3



2 ポスト(②)にハンドル(③)を取付けます。

▼ 使用するネジなど

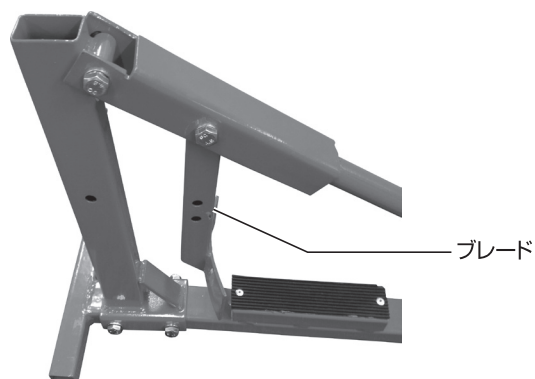
- M8×45ボルト(⑥)×1
- Φ8ワッシャ(⑧)×2
- M8ロックナット(⑨)×1



3 ハンドル(③)にブレード(④)を取付けます。

▼ 使用するネジなど

- M8×45ボルト(⑥)×1
- Φ8ワッシャ(⑧)×2
- M8ロックナット(⑨)×1



4 ポスト(②)とブレード(④)を、プレート(⑤)で接続します。

▼ 使用するネジなど

- M8×45ボルト(⑥)×2
- Φ8ワッシャ(⑧)×4
- M8ロックナット(⑨)×2



⚠ 参考

- ブレード(④)の穴(2箇所)のどちらを使うかで、ブレード(④)の角度調整ができます。

5 ひとつおり組上がったら、各部の状態を確認し、ボルトナットを増締めします。

⚠ 参考

- 可動部に使用されているM8ロックナット(⑨)は、最後に締込んでください。



5 使い方

⚠ 警告

- 作業開始前に、各部に亀裂、変形、傷、損傷、さび、ボルトナットの緩みなどがなく確認してください。異常がある場合は、ただちに使用をお止めください。
- ハンドルにパイプなどを差込んで長くしたり、別のハンドルに交換したりしないでください。

1 タイヤの空気を抜き、バルブコアを外します。

※ タイヤの空気は必ず抜いてください。守らないと、事故やケガの原因になります。

2 タイヤをベースに載せます。

- ※ ブレーキローターやスプロケットが本製品や地面に接触する場合は、必ず取外してください。そのまま作業を続けると、ブレーキローターやスプロケットが損傷したり破損することがあります。
- ※ タイヤにビードストッパーや空気センサーなどが装着されている場合は、装着箇所にはブレードが当たらないようにしてください。必ず装着された箇所から離れた位置で使用してください。

3 ブレードの角度を確認するためハンドルを下ろしていったんブレードをビードに当ててみます。 必要に応じてプレートの位置を変更し、ブレードの角度を調整します。

- ※ ブレードは、タイヤのビードに当ててください。タイヤのサイドウォールやホイールのリムには当てないでください。
- ※ ブレードの角度は、タイヤによって調整してください。
- ※ ブレードの角度を調整しても、ホイールリムに傷が付く場合があります。ご了承ください。

4 再度、ブレードをビードに当てて、ハンドルを真直ぐ慎重に下ろします。

- ※ 力は真直ぐ掛けてください。斜めから力を掛けると、本体が不安定になり危険です。
- ※ ハンドルに過度な荷量を掛けたり、叩いたりしないでください。
- ※ 人力以外の他の動力で操作しないでください。
- ※ 本体が不安定になることがあるため、本体を支えながら作業してください。
- ※ ビードが固着している場合は、ビードを落とすきれない場合があります。
- ※ チューブタイヤの場合、力を掛け過ぎると、チューブを損傷させることがあります。

6 メンテナンス

以下を定期的に行ってください。

- 各部の点検(傷や変形、亀裂などの異常がある場合は、ただちにご使用をお止めください)
- ボルトナットの増締め
- 可動部への注油

7 保管

使用後は、以下の場所を避け、施錠できる所に保管してください。

- 子供や幼児の手の届く場所
- 高温多湿の場所
- ホコリの発生する場所
- 振動する場所

8 廃棄

本製品を廃棄する場合は、使用できないように分解し、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。